

精華町教育委員会議事録

平成 2 9 年（第 6 回）

- 1 開 会 平成29年6月30日（金） 午後4時30分
閉 会 平成29年6月30日（金） 午後5時40分

- 2 出席委員 太田教育長 中谷委員 松本委員
新司委員 岡島委員

- 3 欠席委員 なし

- 4 出席事務局職員

岩崎教育部長 北澤総括指導主事
竹島学校教育課長 仲村生涯学習課長
山崎学校教育課主幹

- 5 傍聴者 なし

- 6 議事の概要

（1）開会

教育長から第6回教育委員会の開会を宣言。

（2）前回議事録について

教育部長から平成29年第5回教育委員会の議事録について説明。

【採 決】

- ・全員承認

（3）教育長報告事項

1点目は総合教育会議の開催について。今年度の第1回目を7月12日の午後4時から開催する。今回のテーマの1つ目は、教育の状況について学力のデータ、生徒指導の状況、進路といった幾つかの項目について、統計データ等を報告し、それに基づいて情報交換を行う。

2つ目は、相楽地方通級指導教室について。現在、川西小学校に開設されている教室に加え、9月から精華台小学校に拡充することとなった。この開

設費用については6月の議会で補正予算を可決いただいたことで、秋から開設するための準備を進めている。その計画についても報告したいことから、現在の川西小学校の通級指導教室の様子を、総合教育会議の際に見ていただく予定にしている。

2点目は、夏の教育委員と校長の合同の研修会について。7月25日午後、教育委員会終了後の午後4時頃から実施する。京都府山城教育局長にお越しいただくお願いをして快諾を得ている。講演内容は山城教育局管内での教育課題について予定している。指導要領の改定、生徒指導、働き方改革、それから危機管理の問題等、良い機会なので講演頂くテーマなどについて意見や要望等があれば出していただければと思う。

(4) 事務局からの諸報告

教 育 部 長 1 精華町議会での質疑について

相楽地方通級指導教室の負担金に関して、木津川市、相楽東部広域連合、精華町の3団体の負担金で備品を購入した場合の所有権の帰属、あるいは修理、廃棄の取り扱いについて質疑があり、これについては精華町単独で決められるものではないので、今後、3教委で協議・調整する旨、答弁をしている。

空調設備については、今回は中学校3校とも1共同企業体への発注となっており、地元業者育成のためにも小学校では分離発注を検討する旨、質疑があった。これについても今後、検討する旨、答弁した。

一般質問に関して、小学校への空調設備の整備や中学校給食についてなど質問あった。山下議員からは質の高い教育行政についてとデジタルアーカイブについての質問があった。

質の高い教育行政について、こちらは教育大綱と質の高い教育への評価をいただき、デジタルアーカイブについては、利便性の向上と幅広い活用について今後の期待を述べられた。

また、三原議員からは中学校クラブ活動指導員の今後の導入について質疑があった。これについては、7月4日に総務教育常任委員会で、精華中学校の吹奏楽部、バスケットボー

ル部など、合計 3 クラブの顧問の話を聞くこととあわせて、それぞれの部活動の視察が行われる予定。

総括指導主事 1 生徒指導報告について

(1) 小学校

5 月の問題事象は 1 件。不登校は 11 名。4 月とおおむね同じ人数となっている。

(2) 中学校

問題事象は 5 件。不登校は 4 月と同じく 17 名。

総括指導主事 2 京都府学力診断テストについて

京都府と精華町を比較している。小学 4 年生では、国語の差が 4.5、前年度が 2.5 であった。同じく算数も 1.6、前年度は 0.0 となり、いずれも町の結果が良好であった。同じ児童の比較ではないが前年度よりも開いている。

中学校 1 年生は、京都府平均と比較して国語が 2.4 から 2.7 に広がり、数学は昨年度 3.7 が 2.1 に縮まったという結果が出ている。

総括指導主事 3 精華町教職員夏季研修会について

8 月 1 日、全小中学校全教職員を対象に行う。内容について、第 1 部では、学習指導要領の改訂が行われるので、それに向けて、金城学院大学教授の原田先生にご講演をいただく。第 2 部では、精華町産業医の谷川先生から子どもたちに関わる感染症の対応についてお話をしていただく。

総括指導主事 4 相楽地方中学校陸上競技大会について

6 月 2 日、太陽が丘で行われた。全国レベルが男子 100 メートル 3 年生の生徒で、11 秒 13 だった。全国大会でも非常によい記録が期待できる選手だと報告を受けている。そのほかの子どもたちも、それぞれの種目で入賞しており、頑張ってくれた。精華中学校の女子が総合で第 2 位に入っている。

学校教育課長 1 勤務実態調査について

各先生方の出退勤の状況を 6 月 19 日から 7 月 20 日まで

の1カ月間調査をしている。集計して、各先生方の状況をつかみ、今後の職場の環境改善、健康管理も含めた基礎資料にしたいと思っている。

現在、町役場職員については、毎週水曜日のノー残業デー、7月、8月の第2・第4金曜日のノー残業デーということで、18時で消灯するライトダウンの取り組みが行われる。これは職員の健康管理と、地球温暖化防止、節電、といった取り組みで、できるだけ学校においてもこの取り組みに準じた形で協力を依頼している。

学校教育課長 2 安全衛生委員会だよりについて

教育委員会で教職員向けの安全衛生委員会の取り組みを進めている。教職員に向けて健康管理や、今年度の研修会の計画等の情報提供を行っている。また、産業医の谷川先生の個別相談では、教職員が直接、谷川先生に相談していただくことも可能としている。さらに、今年度も学校巡視を実施する旨を記載し、教職員への周知に努めている。働き方改革の基礎にもなる委員会になるので、今後さらに充実させていきたい。

学校教育課長 3 食育だよりについて

給食を実施していない中学校の生徒・保護者に対し食育だよりを作成し情報発信している。小学校も中学校も全ての児童・生徒、保護者の方に食育の大切さを伝えるため、レシピも載せて啓発している。

学校教育課長 4 食育月間について

6月は食育月間で、19日の食育の日にあわせて精華町の食育に関係する部署と、町の食生活改善推進委員協議会（あすなる会）の方と合同で、祝園駅前で食育の啓発をした。特に家族一緒に食べる共食や、食品ロスの削減といった内容について、あすなる会の方にもレシピ集を作成いただき、啓発のティッシュとともに配布した。

生涯学習課長 1 子ども議会の実施要項について

7月28日の午後1時半から役場庁舎6階の精華町議会の

議場及び審議会室、第1・第2委員会室で実施する。参加者は、各小学6年生のクラス代表計14名で、対応する町長及び教育長、教育部長、総括指導主事、学校教育課長、生涯学習課長、その他。内容は代表質問として本会議場において、各学校の代表1名が「精華町を住みよいまちにするために」というテーマに基づき質問を行う。

その答弁を町長ないし教育長が答えるスタイルをとる。子どもたちが緊張して発言がしにくいことから、今回、事前のリハーサルや学校との協議も重ねて当日を迎えたいと思っている。その後に委員会室で2つのテーマに基づき議論をする。1つは「いつまでも、自分らしく楽しく生活できるまちにするためには」というテーマ、2つ目が「安全で安心に生活できるまちにするためには」というテーマで、各学校の代表が分かれて議論する。子どもたちの担任等がサポートについていただき、子どもたちが発言しやすい雰囲気づくりを目指して、実施したいと考えている。

【委員の意見等】

松本委員 生徒指導が非常に安定していること、学力が徐々に伸びてきていることを含めて、教育委員会ないし学校の先生方の取り組みが効果をあらわしてきていると思う。昔から教育は人なりと言うが、そのために安全衛生委員会の中に、谷川先生との個別相談をはじめ、学校を視察して授業やクラブの様子を見に行かれるというのは、すばらしい取り組みだと思う。

それから、先生方の勤務実態を把握して、そこから先生方の多忙を少しでも解消しようという取り組みについては、超過勤務を少なくしていくための第一歩だと思う。京都府教育委員会でも取り組んでいるとの新聞報道もあったが、精華町でもこうした取り組みをして、先生方に元気に仕事をしてもらいたい。中学校は昔から生徒指導で帰りが遅いことが多いが、最近、小学校も遅いと実感している。こうした取り組みをやっていたいただくのは非常に大事なことだと思う。

新 司 委 員 食育だよりだが、他市町ではそれぞれの学校単位で養護教諭が作成して保護者啓発がされていると思うが、教育委員会が保護者向けに発行していることを目にするのは初めてなので、すばらしいと思った。

また、あすなろ会と連携して、忙しい保護者がレシピを参考にできる資料を提供することは大変意義があると思う。私も参考にさせていただく。

中 谷 委 員 以前、大学教授の講演で、小学生や中学生はある程度朝食をとれているけれども、大学生になったら途端に朝食をとらないという実態があり、非常に残念という話があった。小学校や中学校の、せめて義務教育の間だけでも朝食をとることは大事であることから、地道にやっていくことがとても大事だと思う。

勤務実態調査については、中学校のクラブをはじめとした、教員の働き方改革について取り組むためには、残業の中身について今後段階を踏んで把握していければいいと思う。

教 育 部 長 特に中学校は早朝練習もある。クラブ顧問がどれぐらいの超過勤務をされているのか把握したいこともあり、今回は出勤時間を含めた勤務時間調査を行い、今後の中身の分析に繋げていきたい。

岡 島 委 員 食育に関して、子どもが中学校へお弁当を持っていっているが、食べる時間が非常に短い。本年度は5分延びて20分になったと先生はおっしゃっていたが、教室移動や準備で、結局10分か15分で食べなければいけないので、半分ぐらい残してきたりすることもある。特に女の子であれば、小さいお弁当しか食べることができない。中学生なのでしっかり食べさせたいので、よくかんで食べることのできる時間があればいいと思う。

教 育 部 長 それについては昨年、学校教育課長と私の2人で中学校の実態調査を行った。確かに各クラス、食べる前の授業によって、移動教室もあつたりすると、食べる時間がまちまちであった。ただ終わる時間もそれに合わせて延ばしていただいている先生もいらっしゃるなど、一定の配慮はしていただいているが、喫食後、休憩で遊びに行く子、そのまま食べている子がいる

ので、その辺りをもう少し何とかできないかなとは思っている。

学校の先生の話では、1年生でも2学期になると、あるいは2年生になる段階には、良いか悪いかは別だが、慣れてくるとのことだった。食育の関係では、よくかんで、時間をかけてということがある。今後、中学校給食も見据えていく中で、時間配分について検討し、学校現場と調整の必要がある。

松 本 委 員 小学校から中学校へ進学してきた子は、給食が始まるとその準備を、ゆっくり丁寧にする。例えばウズラの卵であれば3個ずつ分けるとか、エプロンもつけてちゃんとしてというように。そのままでは、とても昼休みの時間ではおさまらない。早く準備をするために先生も含めて、中学校給食は当初そこで戸惑うと予想できる。

中学校も小学校も勤務時間が長いという話で、例えば行事があって、計画をつくったとする。その計画は学校全体で共有して保管しておき、次の人がそれを基盤にして、目的とか中身を改善していったらいい。大事なことは話し合ったらいいが、簡略化できることは、していくべきだと思う。

教 育 長 給食については私も別の自治体の様子を見に行ったことがある。やはり準備して食べてとなると、かなりの時間がかかる。どこも今、共通の悩みになっているが、給食実施までの間で、研究して、できるだけ効率的な実施方法を考えていきたい。

働き方問題では、業務の改善とともに、部活のあり方の改善もある。これについては、精華町だけの、1つの学校だけの話ではなく、エリアを広げて、共通して進めることも必要になる。

校長にヒアリングしてみると、学校文化で、採点しながら、先生同士で子どもの話をするところがあるということであった。こういうところでいろんなことを若い先生が覚えていくというのは、大事な部分だと思う。学校のこれまでの長い間に培ってきた文化との絡みで、規制となるとなかなか一筋縄でいかない。府でもいろいろ議論しており、町としても取り組むと同時に、現場でも議論してもらおうと思う。

新 司 委 員 子ども議会は、小学生が議員の立場で意見を言って、町が真剣にその話を聞くことは、政治に興味を持っていくうえで、とても意義があることだと思う。

ボランティアのキャラバン・メイトで、先日、精華西中学校で認知症の話をして、その後、認知症の人に親切にする、優しくする、でも認知症だけではなくて障害児の方とか、立場の弱い方とか、小さい子どもさんとか、そういう人たちにどんなふうにしていったら町が住みよくなるか、将来、自分がどんな精華町になったら住みよいと思うか、というテーマ学習を行ってきた。精華西中学校の子どもたちは東光小学校からこのキャラバン・メイトのサポーター養成講座を継続的に進めており、かなり深い学びが進んでいると考えられる。そういうこともあり、子どもたちが自分たちの精華町をどうしていったらいいのか考える良い機会で、小学生が代表で出てきてどんな考えを発表するのか、すごく期待をしている。これはインターネットのライブ中継で見られるのか。

生涯学習課長 役場庁舎内の放映はできるが、インターネット中継の環境が整っておらず申し訳ない。感想や報告は次回にでもさせていただく。

中 谷 委 員 子ども議会は、議事録のような、話し合った中身についてはどこかでまとめて、各小学校へ送るということはするのか。細かいことは要らないけれども、こういう中身の話であって、こういう課題があって、こういう切り口があったとかのまとめがあれば、来年行う今の5年生の子が見たときに、子ども議会をより身近に感じられると思う。地道な取り組みだが、積み上げられるように考えてもらいたい。

生涯学習課長 参考にさせていただき、打ち合わせのときに提案していきたい。

松 本 委 員 学校教育の課題はいろいろあるが、教員の育成、とりわけ若手教員の育成は大きな課題になる。先輩が後輩を教えていく、導いていくことは不可欠で、やはり多少時間かかるかもしれないが、できるだけやっていかないといけないと思う。

教 育 部 長 教育部の異動前に町職員の人事担当をしてきたが、新採職員についてはゴールデンウィーク前までに必ず声をかけるようにしていた。新しく入ってきた自分たちのことも見てくれているという、自分の存在意義なり存在価値なり、自己肯定感が身につくよう心掛けてきた。若手職員にできるだけ声かけをしていくことは教職員の方も同じで大切なことだと思う。

(5) 後援関係

5月から6月に受け付けた教育委員会後援事業の報告は、総数19件、学校教育課関係は0件、生涯学習課関係が19件、うち社会教育係関係が19件、図書係は0件、社会体育係関係は0件。

(6) 7月の行事予定

(7) 閉会

教育長が第6回教育委員会の閉会を宣言。